



2006年3月7日

報道関係各位

株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン

## ゼンテック、米国ソーマ・ネットワークス社と WiMAX 事業で日本市場本格参入

### —無線 LAN 事業者を高付加価値サービス可能なソリューション提供—

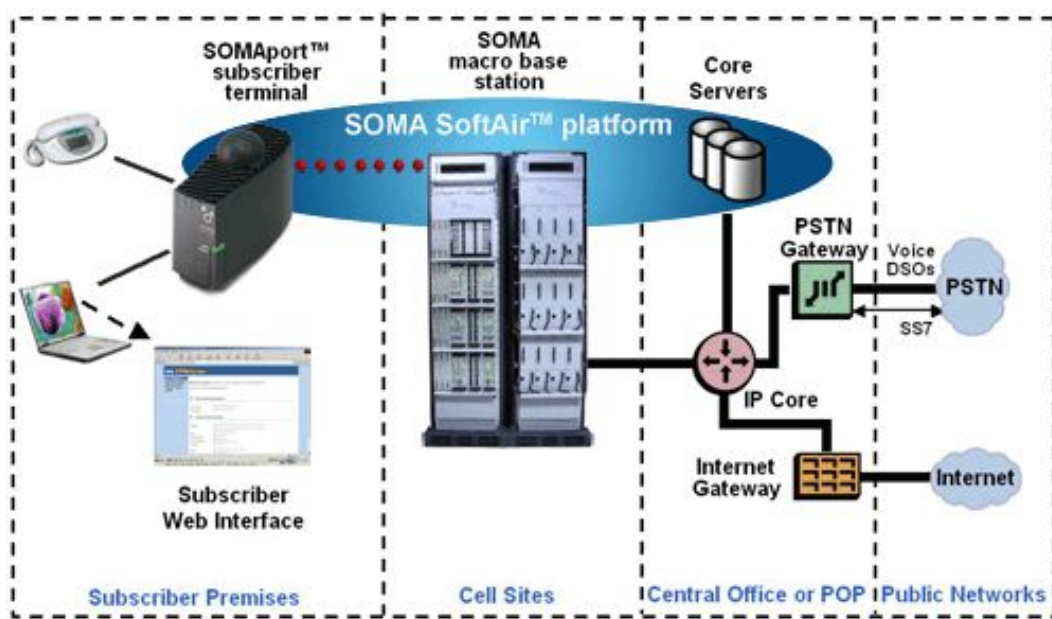
株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大谷省三、以下、「ゼンテック」)は、ソーマ・ネットワークス社(本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ市、最高経営責任者：Yatish Pathak、以下、「SOMA」)と戦略的提携を一段と強化し、次世代ワイヤレス・ブロードバンドの中核技術として注目を集める「WiMAX(ワイマックス)」をターゲットとして、日本市場に本格参入することを発表します。両社は既にシンガポールの合弁会社ソーマ・アジアを通して、東南アジア、インド、オセアニア、中東、アフリカ地域等で積極的な市場参入を推進しておりますが、日本市場参入を契機に SOMA の卓越したブロードバンド・ワイヤレス技術とゼンテックのデジタル放送・映像技術を融合した、新技術・商品の共同開発を積極化します。

総務省は 2004 年「ワイヤレス・ブロードバンド推進研究会」を新たに設置し最終報告書が 2005 年 12 月 27 日に公表され「ユビキタスネット社会現実には有線と無線ブロードバンドの融合が必須」との基本的な考え方をまとめており、有線ブロードバンド不備地域をカバーするワイヤレス・ブロードバンドの通信方法として WiMAX があげられています。既に NTT グループ(NTT DoCoMo 等)やソフトバンクなどが「ラスト・ワン・マイル」の次世代技術として WiMAX の推進を計画しておりますが、両社はこうした次世代通信・放送事業者に対し、高速データ通信、音声、ビデオのトリプル・プレイやこれらの融合による高付加価値サービスを可能とするソリューションを提供する所存です。

SOMA のシステムでは、基地局とソーマ・ポートと呼ばれる無線通信端末(事務所や家庭で一般電源に差し込むだけで設置可能)間の 5 マイル以上のブロードバンド・アクセスが可能となるだけでなく、固定電話品質の通話サービスやビデオ・ストリーミング、ビデオ・コンファレンス等の色々なアプリケーション提供もできます。また、他のワイヤレス・ブロードバンド技術にはない以下のような特徴を有しています。

- NLOS(Non Line Of Site)。基地局と無線通信端末間に遮蔽物があっても対応可能。
- 高度な圧縮技術や、アプリケーションの特性にあわせた伝送最適化の技術等により、伝送容量を5～10倍に有効活用。1 Mbpsで5～10Mbpsのパフォーマンスを実現。
- 高速データ通信、音声、ビデオの融合アプリケーションに対応可能。(他のワイヤレス・ブロードバンド技術は現状ではデータ通信のみ)
- ソフトウェアのダウンロードによるシステム・アップグレードや通信プロトコル転換が可能。例えば、既に商用化が進んでいるWCDMAをベースに事業を開始し、WiMAXの実用化が進んだ段階で切り替える(或いは併用する)ことが可能。事業者は将来の技術進歩によるリスクを吸収できる。

<ソーマ・システム説明図>



The SOMA solution

SOMA のこのような優位性は 300 以上のパテントに裏打ちされており、また IEEE(The Institute of Electrical and Electronics Engineering, Inc. 世界で最も権威のある先端技術に関わるプロフェッショナル協会)でも 2005 年の Winner に選ばれております。またシステムの設置も極めて短期間で可能なことから、ブロードバンド通信のインフラ整備が急務な発展途上国はもとより、先進国の地方対策としても受注が拡大しております。ゼンテックは、SOMA との共同事業を 3つの戦略事業分野の一つである「ネットワーク事業」における中核として位置付け、シンガポールの合弁会社ソーマ・アジアによる受注・販売を拡大しておりますが、今後 WiMAX の拡がりに伴う事業拡大を展望し、SOMA に対する追加出資を含め取り組みの一段の強化を図ります。



## [用語説明]

### ・WiMAXとは(日経エレクトロニクスからの引用)：

半径数 km の距離のユーザーに対して最大 70M ビット/秒の無線データ通信を可能にする広域の無線アクセス規格。ADSL やケーブル・インターネットと同様に、家庭へのアクセス回線として利用する、いわゆる「ラスト・ワン・マイル」に向けた技術と位置づけられる。WiMAX が当初利用する伝送規格「IEEE802.16-2004」は固定無線アクセスに向けた規格ものであり、移動体はサポートしていない。移動体をサポートした規格は、この次世代となる「IEEE802.16e」である。WiMAX は固定無線アクセス向けとして始まり、2007 年～2008 年に移動体へ領域を広げていくと見られる。WiMAX の規格推進を進める団体が WiMAX Forum(ホームページ <http://www.wimaxforum.org>)である。対応製品の相互接続性の確立に向けたプログラム「WiMAX Forum Certified」を用意する。

## 株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパンについて

1997 年に創業者である社長大谷省三により、世界のソフトウェア技術の頂点にある米国シリコンバレーに設立されたゼンテック・テクノロジー・インク(現在は連結子会社)を母体とし、2000 年 2 月に本邦に設立されました。

既にデジタル TV および STB 向け世界各国の標準規格「MediaStack™ シリーズ」や、Java 搭載携帯電話向けの統合開発環境「JADE™ シリーズ」、携帯電話等の組込み機器上で動く Java ベースのウェブブラウザ、デジタル家電向けビジュアル・オーサリングツールの「Zentek MediaMaster™」などを提供しており、デジタル情報家電分野での高度な専門知識を活用し、最先端ソフトウェアの開発・サポート・ライセンス、及びデジタル家電・携帯電話事業に必要な QA(Quality Assurance：品質保証)事業等の画期的な情報家電技術ソリューションを包括的に、日・米・シンガポールの拠点より世界に向けて提供し、ユビキタス社会の実現に貢献する事を使命としています。

## ソーマ・ネットワークス社 について

1998 年に、創業者であるヤティシユ・パサック社長により設立され、ソーマ・システムと呼ばれる「ラスト・マイル」無線ブロードバンド・システムを開発、製造、販売しています。ソーマ・システムは“WiMAX 及び HSDPA 規格”に準拠しており、ベース・ステーションと呼ばれる無線基地局の周囲半径 8～10 キロメートルの範囲内の一般家庭や Soho に設置されたソーマ・ポート端末に 20Mbps 超の無線ブロードバンド・アクセス及び固定電話並みの音質の無線電話サービスを提供します。一つのベース・ステーションで 5～6 千の利用者(ソーマ・ポート)をカバー出来ます。カリフォルニア州サンフランシスコの本社のほか、テキサス州リチャードソン、カナダ・オンタリオ州トロントに開発拠点ががあります。詳しくは、同社のホームページ <http://www.somanetworks.com/> をご参照下さい。



当リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン

財務 IR 担当取締役 吉村 一男

Tel : 03-5298-8100

Fax : 03-5298-8120

E-mail : [press@zentek.co.jp](mailto:press@zentek.co.jp)

URL : <http://www.zentek.co.jp/>

※記載された社名および製品名は各社の登録商標もしくは商標です。